

2019年(Ｈ31年)

5月

No. 328

ひとはつうしん

(ホムア・ジアド) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com



社会福祉法人 ひとは福社会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

糸紅梅が咲き、次いでサクラソノの花、そして大本命の川治いにサクラ、締めくくりは桃、と春のひとははまさに花盛りです。それぞれがうまい具合に春を彩っていました。この国は、やはり4月が新たなスタートとしてふさわしいのかもしれません。

先日、役員森さんが京都よりお客さんを案内して見えました。当日は残念ながらひとは館もささき亭も休みだったため、会議室でひとはの理念をはじめ歴史について説明することになりました。理念の由来、自生文化の形成、地域との協働の重要性等々説明しながら、私にとっても振り返りの機会になりました。いかに多くの人がひとはを支えてきたかを感じざるを得ません。貧者の一灯、ハチドリの子などという言葉もありますが、一人ひとりが大樹の一枚の葉として支えてくださっています。それぞれの生き様をもちながら、なおかつひとはの活動を自分事として捉えていただいていることを身にしみを感じています。
(理事長 寺尾文尚)

《お知らせ》
ひとはつうしんの内容充実のため、6月号より巻頭文を交代制でお届けしていきます。(編集委員より)

「グループホーム完成」

3月号でお伝えした新築グループホームの建物名は“西本邸”として、旧建物の名前を引き継いでいきます。公益財団法人JKAからの補助金、ひとは会からの寄付金、建築に関しては(株)地域総合設計と(有)ユノカワの皆様にお世話になりました。また、評議員の茅野さんには様々な面で助けていただき、ここまで形にすることができました。本当にありがとうございました。

あたらしく入ったひとはの仲間たち

① 名前 ② 所属 ③ 最近笑ったエピソード

① 川本 三ハ子

② ひあ・くらぶ

③ 3月まで勤めていた保育所にて
私「つくし、あるかね」
子「くじく、ないね」
私「つ・く・し あるかね」
子「ちくわ、ないね」
2歳児との楽しい散歩でした。

① 坂田 津季美

② ひあ・くらぶ

③ 大学の卒業パーティーでビンゴ大会をおこなった時、私の隣に座っていたおじさん先生がビンゴに景品は... とっても女子力高めなボディケアセット!
「先生、つかってください」と会場みんなが笑いました。

平成30年度 ひとは福社会後援会会計報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部		支出の部	
会費 403名(法人含む)	1,668,380	ひと福社会へ寄付	1,000,000
冊子収入	37,500	役員費(切手代、手数料)	544,678
利子	0	事業部工賃(いきがい)	35,000
前期繰越金	85,415	事業部工賃(ひとは)	35,000
		事業部工賃(あつぷ)	35,000
		印刷代他(こころえ帖含む)	39,522
		小計	1,689,200
		当期繰越金	102,095
合計	1,791,295	合計	1,791,295

担当: 岡川

「3Dプリンター」

ひとは窯の陶芸家に凄腕の達人がいます。平面写真を一目見れば、立体に蘇らすことができる！正に「3Dプリンター」の腕を持ち備えています。平面写真では見えない裏側の質感や光彩が忠実に再現できていると思えるのです。想像で制作しているのではなく、彼にははっきりと見えているでしょう。認識すると、ルービックキューブを回すのが如く、粘土をこねくろ回して「ハイ、一丁」というように次々とほぼ同じものを増殖していきます（手作りですが、同じものは一つとしてありません）。「土巻」の一言!! 凄腕の持ち主は、岡部洋治郎さん。彼の作品はこの様にして生まれています。（ひとは工房 田中秀典）

「学校ごっこ」

ひあくらぶの子どもたちがよく遊んでいる「ごっこ遊び」があります。それは「学校ごっこ」です。それぞれ先生役、児童役になり、授業やテストをしたり、宿題を持って行ってチェックをもらったります。しかし、本当の宿題に取り組む子どもたちは、問題がわからなくて涙が出たり、時には「やりたくない」と泣いて拒否をしたりすることもあります。それでも、宿題が終わると子どもたちは「学校ごっこ」をします。そんな姿を見て、はじめは「遊びの時まで勉強やらなくてもいいのに」と思っていました。でも、だんだんと「学校での理想の自分を演じているんだ」ということがわかってきました。100点のテストを持って帰ると、頑張った宿題を先生に褒めてもらった。この「理想の自分」を遊びの中で表現しているのです。その願いに少しでも近づけるように、私たちが手伝えることを日々模索しながら関わっています。（ひあくらぶ 白井くみこ）

営業時間 **が変わります**
 ひとは館
 本店 4月~10月 10:30~16:00 (10:30~17:00) 土日祝
 11月~3月 10:30~16:00
 産直市店 4月~10月 10:00~17:00
 11月~3月 10:00~16:00 (*土日祝のみ)

ささき亭
 11:30~16:00
 よろしく (ラストオーダー 15:30)
 おねがいします😊

「元気の秘訣は仕事? それとも...」

先日、体調を崩し入院された重広さんを見舞った時の事。林さんと病室に入ると、退屈していたのかあまりに喜んでくれるので、「(お見舞いに来てほしい人ランキング第一位)林さんが一着者に来てくれて良かった?」と聞くと「うん!」と嬉しそうに大きく頷く。「私は?」... うつむいたまま返事が無い! 同じ返事を確信して「じゃあ、寺尾夏子さん(林さんと同じ年)は?」... うつむいたまま。「年寄りはやなん?」「うん!」と聞かずにはっきり答える。まあ元気にした証だからいいか。ほつりと「いつ帰れるんかの、いちごの葉っぱが伸びとるけえ切らんといいんよ。」と心配する。重広さんひとは一番最初の一人。「僕がおらんに、ひとははつづかれるけん」の思いは健在だった。(新労センタ-あぶ 兼近洋子)

「3分の会話」

三上潤子さんは、ホームで過ごす夜は毎日家へ電話をされます。10円を3枚握りしめ公衆電話へ行き、電話が繋がると三上さんから笑顔と「お父さん」と元気な第一声が聞こえます。三上さんの元気な声もさることながら、ご両親の「潤子」と温かく大きな声が電話越しに聞こえてくるようです。電話はホームが出来た2002年から毎日続いているとのこと。いつもいきなり切れるので会話は中途半端なものでしょうが、電話の後にはいつも笑顔の三上さん。ただ、ご両親の悩みは、いつまでこのやりとりを続けられるだろうか...。ご両親の気持ちを受け止めながら、一日でも長く続くことを願っています。(共同ホームでは 井上美恵)

編集後記
 重広さんは退院後しばらくはひとはでショート利用することに。自覚にいた犬のコロ、さりげなくひとはの住人(犬)になっているところがすごい! 身構めて長く泳いでいた大迫さん、久しぶりのひとはで笑々々な犬とみつける。神秘的な小声で犬の散歩の順番があるなら、おねがいします...。散歩中のウンコを綺麗に毛布の下に片づけて。コロは胸をほて生きろ!